

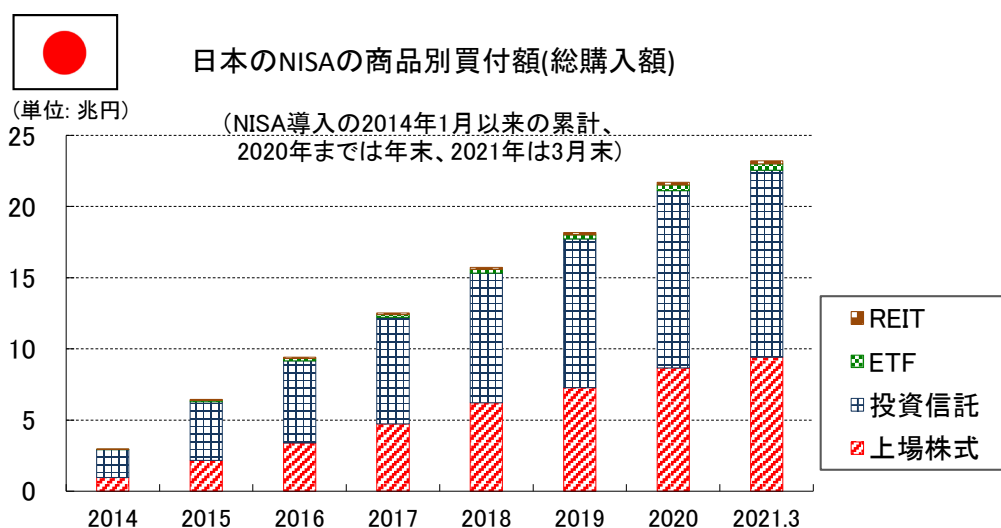
NISAの政府目標25兆円達成へ!

最新成長戦略の「NISA普及・周知、長期積立分散投資定着、金融リテラシー向上」でさらなる拡大も!! 若い世代が増えつつあるNISAでは引き続きグローバル株と米国株が人気!!!

三菱UFJ国際投信株式会社 商品マーケティング企画部 松尾 健治
窪田 真美

●NISAの政府目標25兆円達成へ! 最新成長戦略の「NISA普及・周知、長期積立分散投資定着、金融リテラシー向上」でさらなる拡大も!!

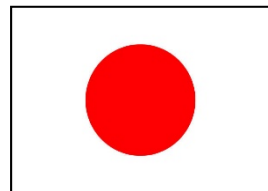
2021年7月16日に金融庁公表「NISA・ジュニアNISA利用状況調査結果」によると、NISA(少額投資非課税制度)が導入された2014年1月以来、NISA口座を通じて買付けされた金額は、2021年3月末時点で総額23兆3730億円(=一般NISA 22兆1763億円+つみたてNISA 9012億円+ジュニアNISA 2955億円)であった(URLは後述[参考ホームページ]①参照)。



(出所: 金融庁より三菱UFJ国際投信株式会社商品マーケティング企画部が作成)

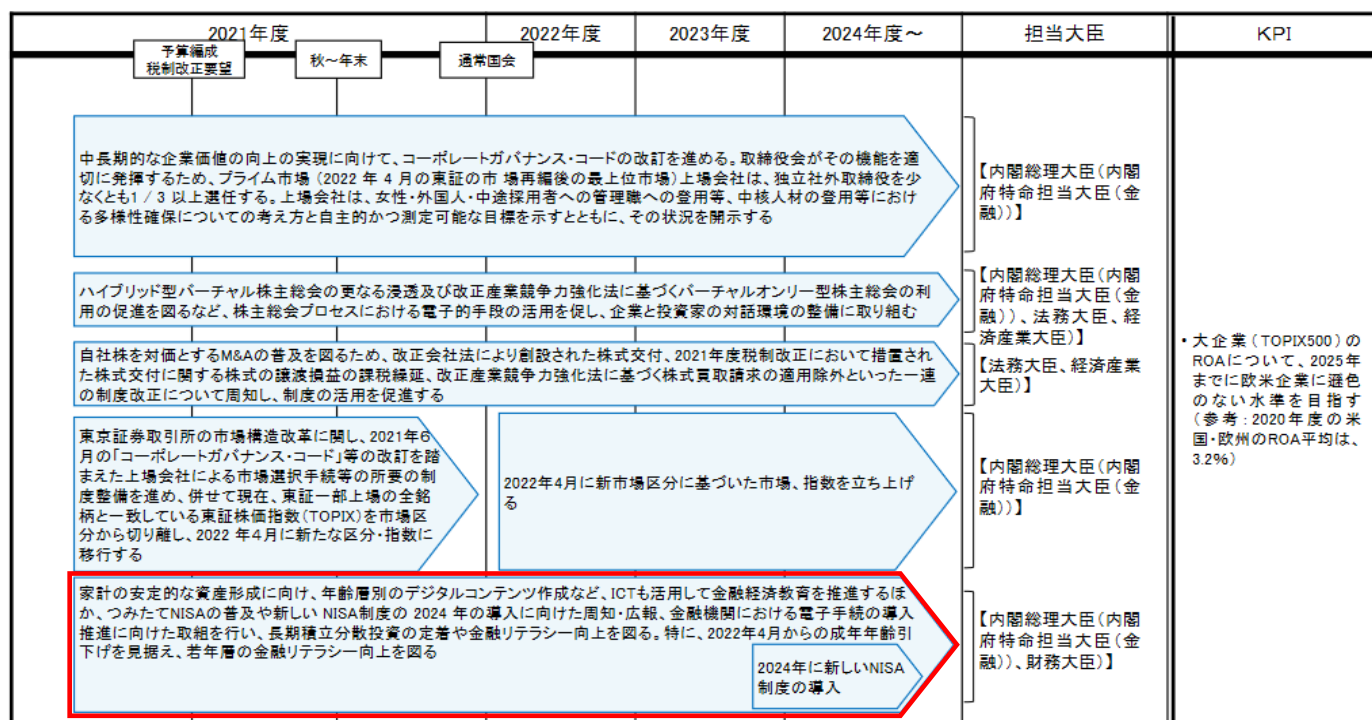
NISAの投資総額は2020年末に21兆9625億円で、2021年3月末に23兆3730億円と前年末から+6.4%増。今後もこのペースで増えるとすれば、2021年7月末に25.4兆円となる計算である。

2012年7月31日に政府が「日本再生戦略」で出した「2020年までの日本版ISA(現在のNISA)の投資総額目標25兆円」(URLは後述[参考ホームページ]①参照)は7カ月遅れだが、達成する可能性が高い。政府目標の25兆円超については、その当時の当コラムで、本家・英国ISA/Individual Savings Account(個人貯蓄口座)やカナダ版ISA[TFSA/Tax-Free Savings Account(非課税貯蓄口座)]の先例から目標が現実的としていた(2013年6月3日付日本版ISAの道 その14、2013年7月22日付日本版ISAの道 その21~URLは後述[参考ホームページ])。



最新 2021 年 6 月 18 日に閣議決定された「成長戦略(2021 年)」で政府は「家計の安定的な資産形成に向け、年齢層別のデジタルコンテンツ作成など、ICT(Information and Communication Technology/情報通信技術)も活用して金融経済教育を推進するほか、**つみたて NISA の普及や新しい NISA 制度の 2024 年の導入に向けた周知・広報**、金融機関における電子手続の導入推進に向けた取組を行い、**長期積立分散投資の定着や金融リテラシー向上**を図る。特に、2022 年 4 月からの成年年齢引下げを見据え、若年層の金融リテラシー向上を図る。」(URL は後述[参考ホームページ]①参照)としている(下線及び「ICT」の括弧書きは当コラム筆者)。 つみたて NISA については、冒頭の金融庁調査では、2021 年 3 月末の口座数が、361 万 5075 口座と、前年末比+19.6%の増加。一方、一般 NISA は 1224 万 5057 口座で同 +0.3%だったので、つみたて NISA 利用者の伸びの大きさが分かる。

11. コーポレート・ガバナンス



(出所: 2021年6月18日付閣議決定「成長戦略(2021年)」(別添)成長戦略フォローアップ工程表より三菱UFJ国際投信株式会社商品マーケティング企画部が作成)

NISA の政府目標 25 兆円は今年中に達成する可能性は高く、そして最新成長戦略の「NISA 普及・周知、長期積立分散投資定着、金融リテラシー向上」でさらなる拡大が期待されそうである。

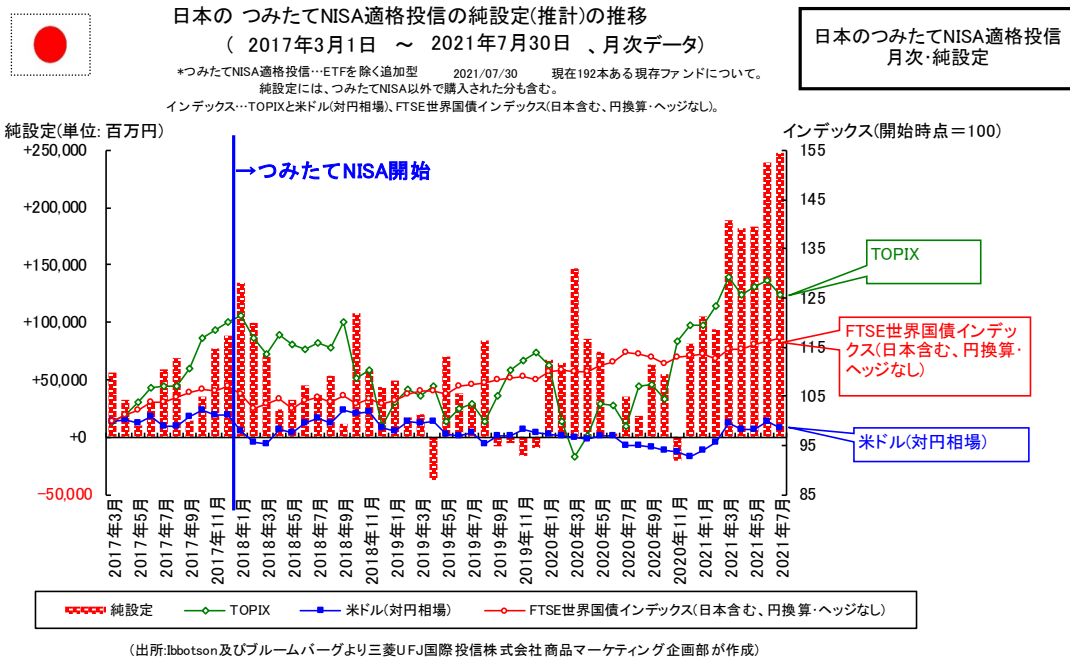
新しい NISA 制度の 2024 年の導入については、2020 年 10 月 30 日付日本版 ISA の道 その 319「NISA をきっかけに投資を始める人が若い世代中心に増加! しかし新 NISA(2 階建て NISA)をよく知らない人が 9 割近く!!」(https://www.am-mufg.jp/text/oshirase_201030.pdf)を参照の事。また、長期積立分散投資については、当コラムでは NISA が始まる前年、2013 年から検証してきており、直近では 2021 年 7 月 12 日付日本版 ISA の道 その 337 を参照(URL は後述[参考ホームページ]①)。

この様に一層の普及拡大を期待されている NISA だが、ここで当コラムにて恒例となっている、NISA で実際にどのような投信が買われたかを見る。当コラムでは投資家を「つみたて NISA 投資家」「新規投資家」「既存投資家」に分けている。「つみたて NISA 投資家」は、つみたて NISA 適格投信のフローで代替し、「新規投資家」は NISA 向けファンド(後述※1 参照)、NISA で投資をする若い世代が増えつつあるものの、投資家の大半を占めているとされる「既存投資家」(60 歳代以上が多い)は、投信全体のフローで代替する。これは日本証券業協会が「NISA を利用する層としては、投資経験及び投資資金ともに豊富で比較的年齢の高い層だけでなく、投資経験が浅くまた投資資金が少ない若年層まで幅広く考えられる。」(URL は後述[参考ホームページ]①参照)と言っている事も参考としている。

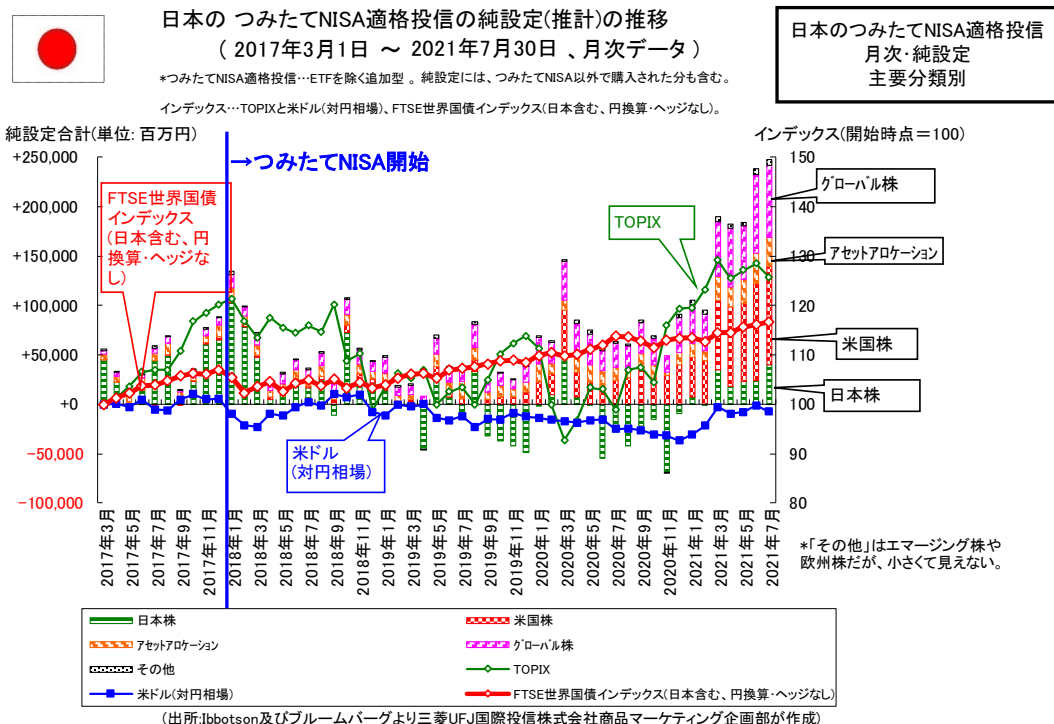
●若い世代が増えつつある NISA では引き続きグローバル株と米国株が人気!!! ～最新のつみたて NISA のフロー、NISA 向けファンドのフロー、投信全体のフロー～

<つみたて NISA のフロー～つみたて NISA 投資家は米国株とグローバル株とアセットアロケーション～>

つみたて NISA 投資家の純設定を見る(対象及び要件は 2017 年 4 月 24 日付日本版 ISA の道 その 179～URL は後述[参考ホームページ]②参照)。つみたて NISA 適格投信で、つみたて NISA 以外で購入された分を含む (ETF を除く)。投信純設定は、2021 年 7 月に+2475 億円と、前月 6 月(+2386 億円)を上回り、2 カ月連続して、つみたて NISA 開始以来最大を更新した。

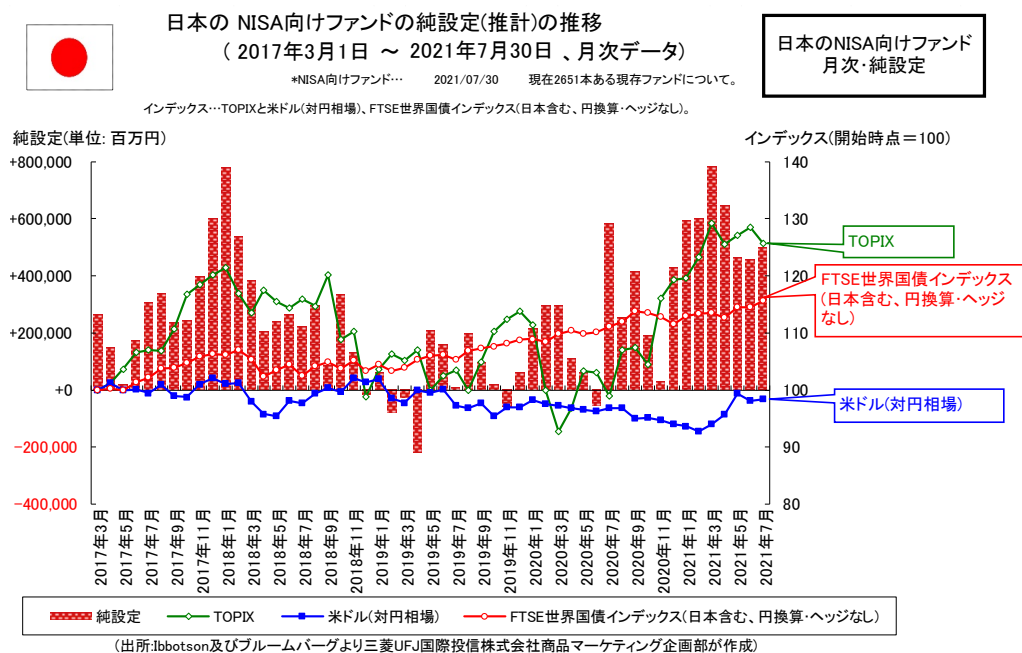


投資対象別では **2021 年 7 月に純設定の大きかったのは前月同様、米国株、次いでグローバル株、アセットアロケーションだった。** 米国株では、S&P500 など広範な株価指数に連動するインデックスファンド中心に純流入が継続している。

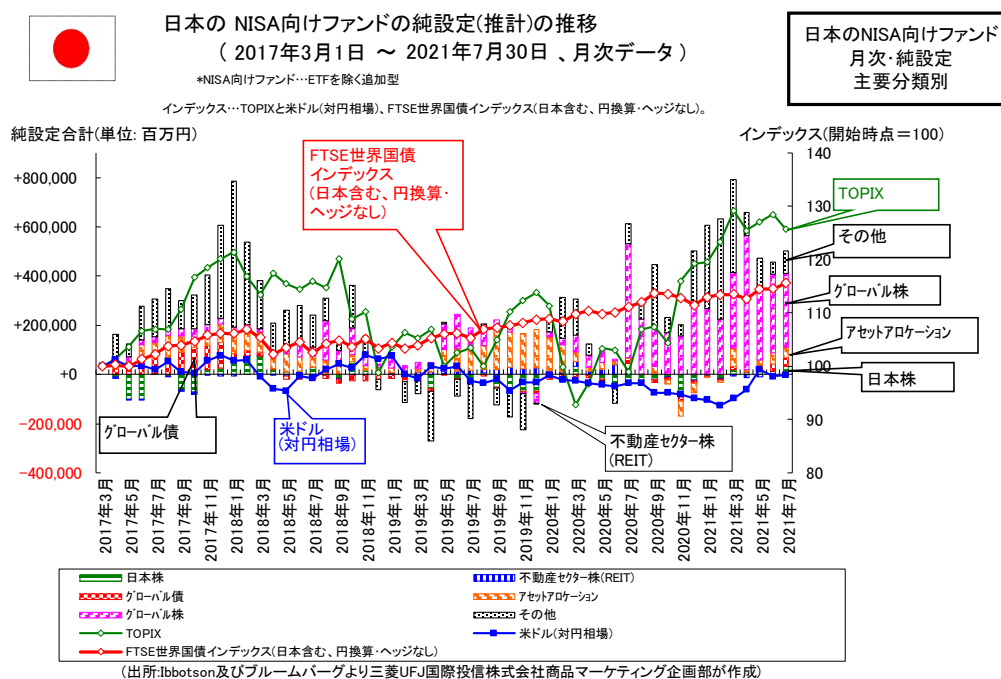


<NISA 向けファンドのフロー～新規投資家はグローバル株、米国株、アセットアロケーション～>

次に、新規投資家の投資に近いと思われる NISA 向けファンドの純設定(推計)を見る。2021 年 3 月に+7853 億円と NISA 開始(2014 年 1 月)以来最大となった後、6 月にかけて減速していたが、最新 2021 年 7 月は+4990 億円と、4 カ月ぶりに前月比で増加、13 カ月連続の純流入(*NISA 向けファンド…後述※1 参照)。

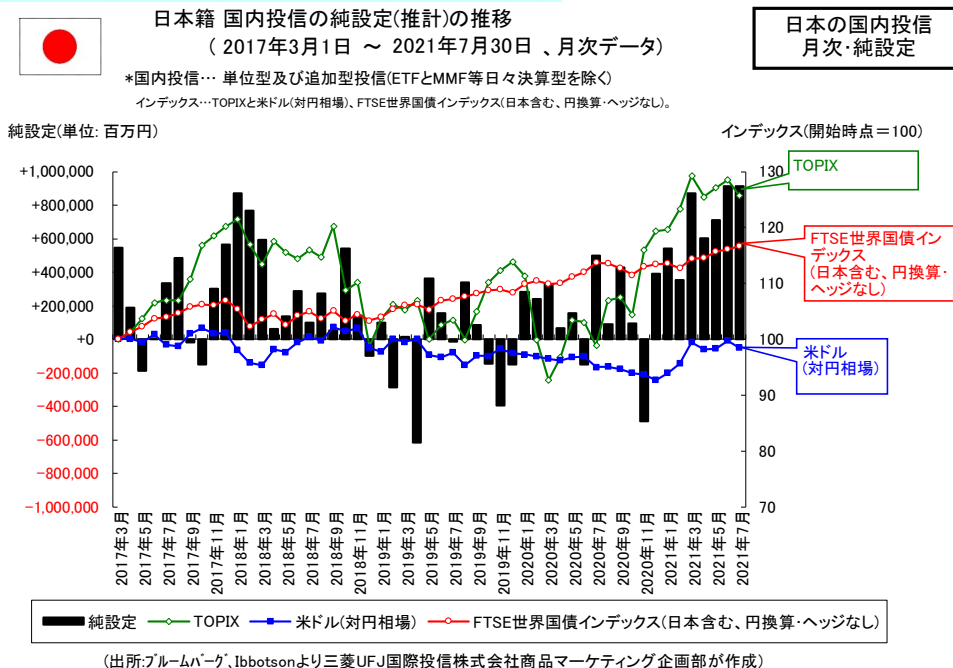


投資対象(主要分類)別に見る。2021 年 7 月の純設定が大きかったのは、グローバル株、次いで米国株、アセットアロケーションだった(下記で米国株は「その他」に含む～後述※2 参照)。一方、一時期グローバル株と並ぶほど勢いのあったセクター株は、2021 年 2 月をピークに減速、前月 6 月に 12 カ月ぶりの純流出に転じ、7 月は純設定 -365 億円と2カ月連続の純流出となった(下記で「その他」に含む)。

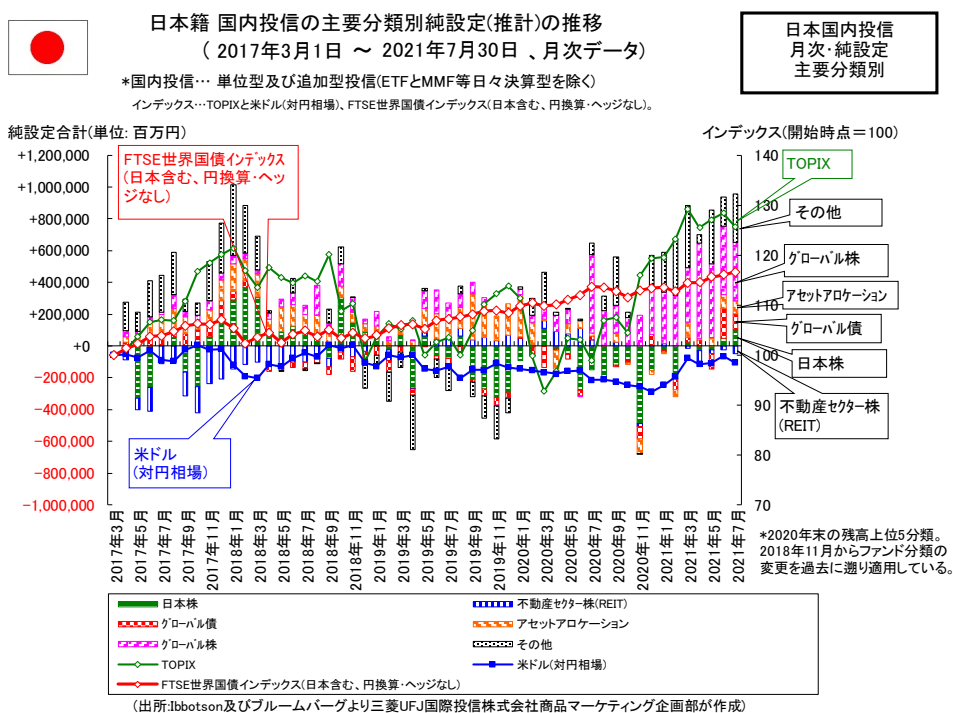


<投信全体のフロー～既存投資家(投信全体)ではグローバル株、米国株、日本株～>

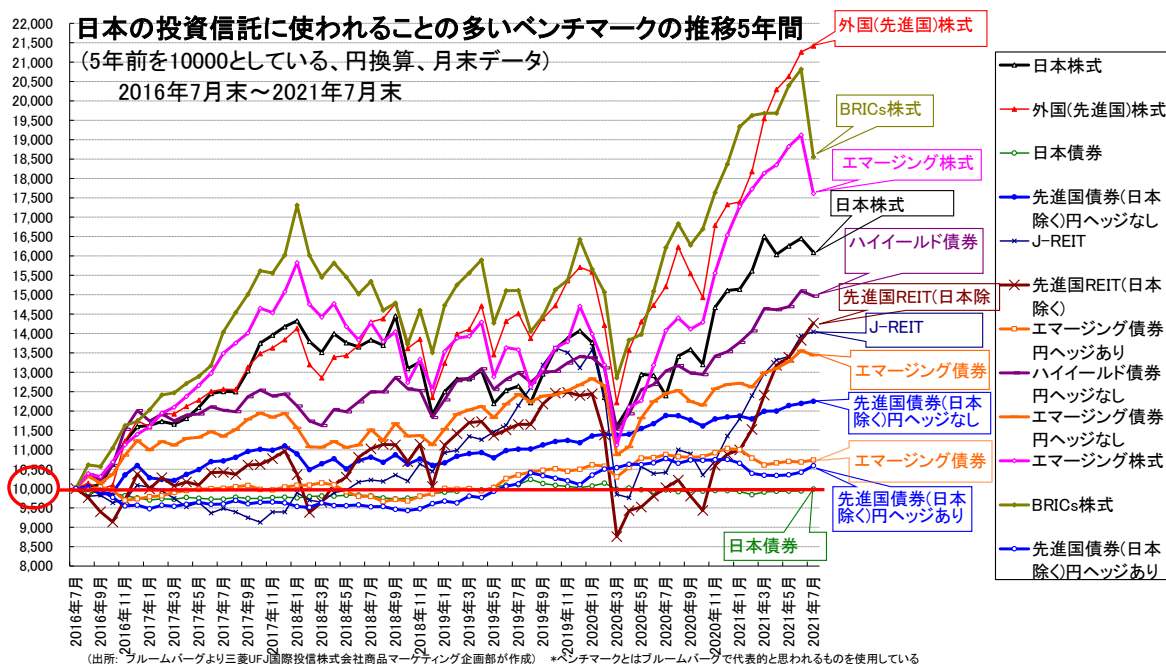
既存投資家の投資を示す投信全体の純設定(推計)を見る。最新 2021 年 7 月に+9108 億円と、昨年 12 月 (+3914 億円)から、8 カ月連続の純流入で、純流入加速傾向となっている。



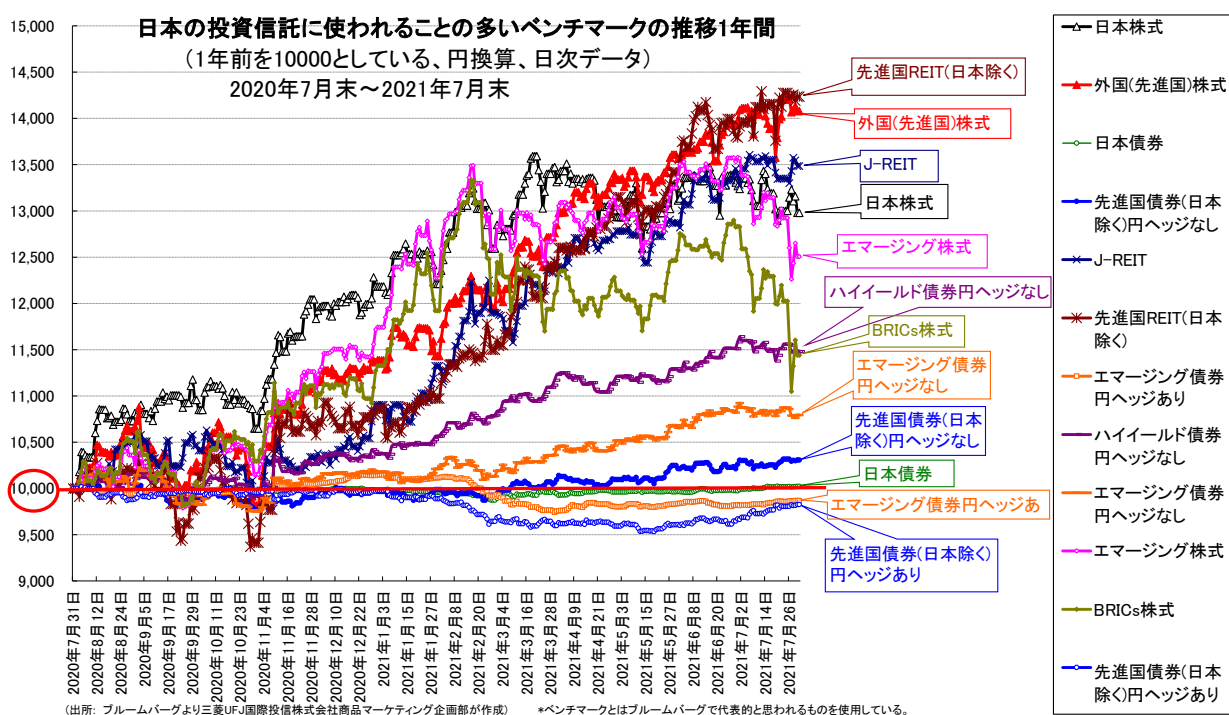
2021 年 7 月の既存投資家の純設定を、投資対象別で見よう(主要分類～後述※2 参照)。下記に示される通り、7 月は、新規投資家同様、グローバル株+3679 億円が前月に引き続き最大で、次いで米国株、日本株だった(グラフで米国株は「その他」に含む)。既にグローバル株は、2021 年(1～7 月)の純設定額が+2.8 兆円と、2020 年(1～12 月)の約+1.9 兆円の 1.4 倍である(←2019 年+6750 億円←2018 年+8510 億円←2017 年+6400 億円)。グローバル株で個別にみて大きいのが、7 月 12 日に新規設定された、脱炭素社会実現に向けたソリューションを提供する企業に投資する ESG ファンドだった。ESG 関連ファンドは日本のみならず世界でも好調な純流入となっている。モーニングスターによれば 2021 年 7 月は世界で ESG 関連ファンドに 7.7 兆円の純流入と、前月 6 月の 4.2 兆円を上回り、過去最大の純流入だった(ETF も MMF も含む～Morningstar Direct)。米国株は 7 月+2788 億円と、26 カ月連続の純流入で、2021 年(1～7 月)は既に+1.3 兆円と、前年 2020 年(1～12 月)+1.1 兆円超。



新規投資家でも既存投資家でもグローバル株や米国株などに資金が集まった背景だが、パフォーマンスの好きによるところが大きいと思われる。日本の投信に使われる事の多いベンチマークについて、2021年7月末までの5年間パフォーマンス推移を見た。 好い順に、先進国株式、BRICs 株式、エマージング株式、日本株式、ハイイールド債券、先進国 REIT、J-REIT、エマージング債券などとなっている(*グラフは5年前を10000としている、円換算、月末データ)。「昨年3月に新型コロナウイルス感染拡大の影響で世界の株式相場は大きく下落したが、その後、各国政府の経済政策やワクチン接種の進展による先進国の経済活動の再開などを受けて、米国を中心とした先進国の株式相場が反発。21年は米ダウ工業株30種平均が過去最高値の更新を続けるなど、米国の株式相場は歴史的な高値圏で推移し、米国株式を投資対象とするファンドの運用成績が向上した。」(2021年7月26日付日本経済新聞電子版～URLは後述[参考ホームページ]③参照)とも報じられている。

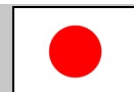


1年のパフォーマンス推移も見た。下記がそれで、好い順に、先進国 REIT、先進国株式、J-REIT、日本株式、エマージング株式、ハイイールド債券、BRICs 株式など(*グラフは1年前を10000としている、円換算、日次データ)。



NISA をきっかけに投資を始めた人や、若い世代を中心に多い「**どの商品を購入してよいかわからない**」(2020 年 2 月 13 日付投資信託協会アンケート～後述[参考ホームページ]②参照)について、ぜひ「先人」の動向も参考にし、資産形成を進めていってほしいものである。

※1: NISA 向けファンド…



投資信託協会の言う「NISA 向けのファンド(*分配頻度が低いファンド、低コストのファンド、バランス型ファンド)」を参考にしながら(URL は下記参照)、2013 年 11 月末時点の契約型公募投信純資産が 1 兆円以上ある投信会社 17 社(*全 84 社の約 90%を占める)の株式投信(ETF を含む)で「NISA 向け」、「NISA 専用」、「NISA で選ぶ」、「NISA におすすめ」などと紹介されているファンド、それに加え、2013 年 4 月以降に設定された分配頻度が低いファンドやバランス型ファンドとしている。

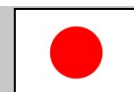
日本証券業協会は「NISA 制度の利用者にとって、短期間に金融商品の買換え(乗換え)を行う又は分配金再投資型の公募株式投資信託につき高い頻度で分配金の支払を受けるといった投資手法等は NISA 制度を十分に利用できない場合がある」と言っている(URL は下記参照)。

投資信託協会は 2013 年 11 月 21 日に「『NISA』の普及・拡大に向けた投資信託商品に関する調査」の中で「NISA においては一般的に、投資未経験者層、或いは久々に投資を行う層を意識して、比較的风险を抑えた商品」と言っている(URL は下記参照)。

尚、2013 年 4 月以降と言うのは、NISA が含まれる税制改正(関連)法が 2013 年 3 月 30 日に成立・政省令公布された為である。また、単位型・限定追加型・年 1～2 回分配以外のファンド・DC・SMA・ミリオン(従業員積立投資プラン)を含めていない。ただ、同じシリーズが該当している場合は年 1～2 回以外を含めている。しかし、通貨選択型については、年 1～2 回以外を除いている(*マネー・プールは年 1～2 回でも除いている)。こうした「NISA 向けファンド」を抽出した所、2021 年 7 月 31 日時点で 2651 本となった。

以下、参考 URL である。金融庁「つみたて NISA の対象商品」…「<https://www.fsa.go.jp/policy/nisa2/about/tsumitate/target/index.html>」、2014 年 1 月 8 日付投資信託協会メールマガジン「NISA 向けのファンドって?」…「<https://www.toushin.or.jp/mailmag/backnumber/>」、2019 年 4 月 26 日付日本証券業協会「NISA 制度の口座開設及び勧誘並びに販売時等における留意事項について(ガイドライン)」…「<http://www.jsda.or.jp/anshin/oshirase/files/nisaguideline.pdf>」、2013 年 11 月 21 日付投資信託協会「『NISA』の普及・拡大に向けた投資信託商品に関する調査」…「<http://www.toushin.or.jp/topics/2013/10055/>」、つみたて NISA の要件は 2017 年 4 月 24 日付日本版 ISA の道 その 179「積立 NISA の適格投信は全体の 1%以下でインデックス・ファンドばかり。これを米国に当てはめると、全体の 1.6%でアクティブ・ファンドが半分超に!」…「<https://www.am-mufg.jp/text/oshirase.170424.pdf>」。

※2: 主要分類…



モーニングスター分類で 2020 年 12 月末の純資産の大きい上位 5 分類である。グローバル株は、2018 年 11 月 1 日のグローバル分類の変更でグローバル大型株及びグローバル中小型株と分かれた為、グラフでは、従来通りの「グローバル株」として合算する。また、アセットアロケーション型は、「アセットアロケーション慎重型」、「アセットアロケーション柔軟型」、「アセットアロケーション標準型」、「アセットアロケーション積極型」、「アセットアロケーションその他」を合算。米国大型グロース/ブレンド株、CB、テクノロジー・セクター株、公益セクター株、通信株、日本債などは「その他」に含む。

以 上

[参考ホームページ]

①2021年7月16日付金融庁「NISA・ジュニア NISA 利用状況調査結果…」<https://www.fsa.go.jp/policy/nisa/20210716/01.pdf>」、2012年7月31日付「日本再生戦略」…<https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/npu/pdf/20120731/20120731.pdf>」、2021年6月18日付閣議決定「成長戦略フォローアップ」…<https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/seicho/pdf/fu2021.pdf>」、2013年6月3日付日本版 ISA の道 その 14「カナダ版 ISA『TFSA』を見ていると、日本版 ISA(NISA/ニーサ)が 2014 年に 5～600 万人、4～5 兆円となる可能性は十分あると言えそう～日英加の少額投資非課税制度比較～。」…<https://www.am.mufg.jp/text/130603.pdf>」、2013年7月22日付日本版 ISA の道 その 21「NISA(日本版 ISA)の本家・英国 ISA のファンドは今～国内株やアロケーションなどを中心に拡大中、IFA が活用するファンド・プラットフォームは圧倒的規模に!～」…<https://www.am.mufg.jp/text/130722.pdf>」、2020年10月30日付日本版 ISA の道 その 319「NISA をきっかけに投資を始める人が若い世代中心に増加! しかし新 NISA(2 階建て NISA)をよく知らない人が 9 割近く!!～最新の NISA 向けファンドのフロー、つみたて NISA のフロー、投信全体のフロー: テクノロジー株が人気で、引き続きグローバル ESG 株も人気～」…https://www.am.mufg.jp/text/oshirase_201030.pdf」、2021年7月12日付日本版 ISA の道 その 337「コロナ禍でネット中心に伸びる積立を検証! ～投信協会「つみけん」、金融庁「モニタリング結果」に示される長期・分散・積立の重要性、その効果を常日頃から伝える事の重要性～」…https://www.am.mufg.jp/text/oshirase_210712_2.pdf」、2020年6月19日付日本証券業協会「NISA 制度の口座開設及び勧誘並びに販売時等における留意事項について(ガイドライン)」…<http://www.jsda.or.jp/anshin/oshirase/files/nisaguideline.pdf>」。

②金融庁「つみたて NISA の対象商品」…<https://www.fsa.go.jp/policy/nisa2/about/tsumitate/target/index.html>」、つみたて NISA の要件は 2017 年 4 月 24 日付日本版 ISA の道 その 179「積立 NISA の適格投信は全体の 1%以下でインデックス・ファンドばかり。これを米国に当てはめると、全体の 1.6%でアクティブ・ファンドが半分超に!」…https://www.am.mufg.jp/text/oshirase_170424.pdf」、2020年2月13日付投資信託協会「投資信託に関するアンケート調査結果-2019 年」…<https://www.toushin.or.jp/statistics/report/research2019/>」。

③2021年7月26日付日本経済新聞電子版「つみたて NISA3 年半、値上がり銘柄は(投信ランキング)」…<https://www.toushin.or.jp/statistics/report/research2019/>」。

三菱 UFJ 国際投信【投信調査コラム】日本版 ISA の道 バックナンバー:
「各年ごと…<https://www.am.mufg.jp/market/report/investigate.html>」、
「2013 年 2 月 1 日付日本版 ISA の道 その 1 から一気に見る/検索する…
<https://www.am.mufg.jp/smp/market/report/investigate.html>」もしくは
Google 等で「投信調査コラム」もしくは「日本版 ISA の道」と検索。

本資料に関してご留意頂きたい事項

- 当資料は日本版ISA(少額投資非課税制度、愛称「NISA/ニーサ」)に関する考え方や情報提供を目的として、三菱UFJ国際投信が作成したものです。当資料は投資勧誘を目的とするものではありません。
- 当資料中の運用実績等に関するグラフ・数値等はあくまでも過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮していませんので、投資者の皆様の実質的な投資成果を示すものではありません。市況の変動等により、方針通りの運用が行われない場合もあります。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。
- 当資料に示す意見等は、特に断りのない限り当資料作成日現在の筆者の見解です。
- 投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。
- 投資信託は値動きのある有価証券を投資対象としているため、当該資産の価格変動や為替相場の変動等により基準価額は変動します。従って投資元本が保証されているわけではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。
- 投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。
- 投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- クローズド期間のある投資信託は、クローズド期間中は換金の請求を受け付けることができませんのでご注意ください。
- 投資信託は、ご購入時・保有時・ご換金時に手数料等の費用をご負担いただく場合があります。

本資料中で使用している指数について

- 本資料中の指数等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。また、発行者および許諾者が指数等の正確性、完全性を保証するものではありません。
- ブルームバーグ(BLOOMBERG)は、ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピー(Bloomberg Finance L.P.)の商標およびサービスマークです。パークレイズ(BARCLAYS)は、ライセンスに基づき使用されているパークレイズ・バンク・ビーエルシー(Barclays Bank Plc)の商標およびサービスマークです。ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピーおよびその関係会社(以下「ブルームバーグ」と総称します。)またはブルームバーグのライセンサーは、ブルームバーグ・パークレイズ・インデックス(BLOOMBERG BARCLAYS INDICES)に対する一切の独占的権利を有しています。